



「サクラソウ美術館」

百合が原公園管理事務所
TEL:011-772-4722
FAX:011-772-4741
E-mail:
suzuki.mayuko@sapporo-park.or.jp
広報担当 鈴木
(温室担当 岡田)

数百年愛された花に見とれてしまうでしょう…

- ◇場所 百合が原緑のセンター 中温室
- ◇期間 2016年4月26日(火)～5月15日(日)
- ◇時間 8:45～17:15
- ◇休館日 緑のセンター・温室：月曜(月曜が祝日の場合翌平日が休み) ※公園事務所：定休なし
- ◇入館料 130円 ※中学生以下無料。65歳以上の方、障がい手帳のある方は証明書の提示で無料。
- ◇内容 下記の通り

報道関係者各位様

いつも大変お世話になっております。屋外では白いモクレンと紫のツツジが華やかに咲く季節、温室では「サクラソウ美術館」を開催します。サクラソウは世界に数百種類がある、タンポポくらいサイズの花です。3～400年におよぶ品種改良の歴史があります。日本の武士や、イギリスの毛織物産業の労働者が、多数の花を作りました。花の姿は多様です。どちらも、各地で愛好団体が展示会を開く人気者です。19世紀に確立された伝統的舞臺に飾り、園芸文化の歴史と合わせてご紹介しています。

50品種50鉢、順次入れ替え、総計約90品種110鉢が開花予定です。

桜に似た日本のさくらそう (学名プリムラ・シーボルディ) は白、ピンク、紅色の花です。江戸

時代に確立された「桜草花壇」では、ひな壇上に濃淡交互の千鳥模様に並べ互いを引き立てさせます。自生地では地下でつながって広がり、河川敷に花畑を作ります。

前半のおすすめは、裏は桃色、表は白色で、縁が波打つ花弁が爽やかな‘桜川’や、1860年の桜草名寄控に名前のある、紫の花弁に白い脈が走り、刻みの入った花弁が派手な‘紫籬(むらさきかがり)’です。

イギリスやヨーロッパのプリムラは、額縁の中やビクトリア朝風の劇場風のステージに飾ります。花色は赤・青・緑・黒・黄・紫・ピンクと多彩です。おすすめは、複雑な濁った中間色で、思わず近寄って見ってしまう不思議な色の‘デアレント・タイガー’や、ピロードのような濃厚な質感でまるで作り物のような‘アリス・ハイソン’です。

また、**北海道に自生するサクラソウ**もご紹介いたします。各地で適応し、独自の形質を獲得しました。ある山脈だけに見られる種もあります。広い地域に分布する種もあります。

より多くの方々に楽しんでいただきたく、ご紹介いたします。よろしくお願いたします。画像の提供、開花状況など、電話・メールで承りますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

◆◆温室開花情報◆◆

温室では現在ハンカチノキが見頃です！